

まちかど防災訓練に参加しよう！

「まちかど防災訓練」は、皆さんのご自宅近辺の路上など、身近な場所で初期消火訓練や救出救助訓練をご近所同士で行う実践的な訓練です。少ない人数、短時間で実施できますので、ぜひ参加してください！

初期消火訓練

● スタンドパイプ

- ◆ 消火栓等に差し込み使用
- ◆ 1分間に100リットル以上の放水が可能
- ◆ 軽量で操作が簡単
- ◆ 保管場所：町会・自治会の会館や防災倉庫



消火栓を活用
動力不要で簡単！



● D級可搬消防ポンプ

- ◆ 防火水槽等から吸水し使用
- ◆ 1分間に130リットル以上の放水が可能
- ◆ 少人数でも操作可能
- ◆ 保管場所：町会や消防団の倉庫／学校など



断水時でも
水源利用で活躍！



まちかど防災訓練の効果

- ◆ ご自宅周辺での災害対応のイメージができる
- ◆ 身近にある消火資器材の取り扱いを学べる
- ◆ 隣近所で助け合う協力体制ができる
- ◆ 自分たちの地域は自分たちで守る意識ができる



● 消火器

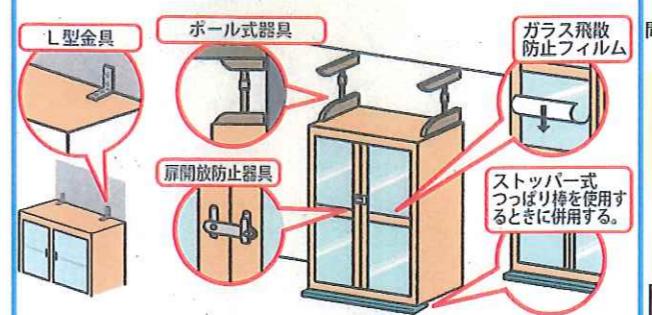


もっとも身近な
消火資器材！



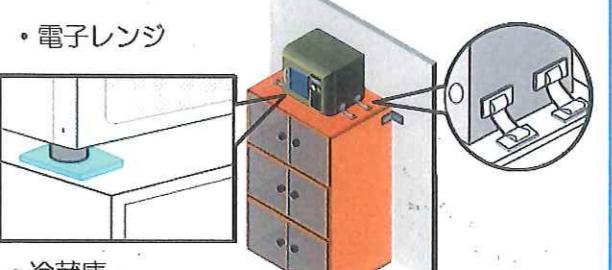
家具類の転倒・落下防止

家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒や落下防止措置をしておきましょう。また、就寝中の地震発生に備えて寝室の家具は、優先的に転倒防止対策を実施しましょう。重いものは、下に収納することで家具の重心が低くなり転倒しにくくなります。



家電製品の転倒・落下・移動防止

・テレビ 各家電製品は取り扱い説明書に従い固定してください。
ストラップや粘着マット、ヒートンを使って連結・固定する場合は、テレビ本体の形状・重量や壁の強度に応じた対策が重要です。テレビは重心が高く、テレビ台ごと転倒することがあります。テレビ台も壁や床などに固定しましょう。

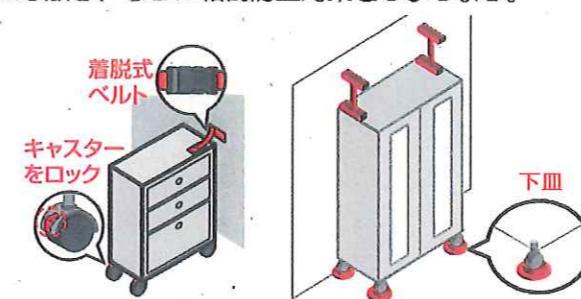


・電子レンジ
脚の部分のロックを行うとともに、冷蔵庫の上部をベルトなどで背面の壁と連結することが有効ですが、壁側にネジ止めをする器具の場合は、壁の強度のある部分で行う必要があります。



家具類の移動防止

頻繁に移動する家具類は、キャスターをロックし、壁と着脱式ベルトなどで連結しましょう。あまり移動しないキャスター付き家具類は、キャスターに下皿を敷き、さらに転倒防止対策をしましょう。



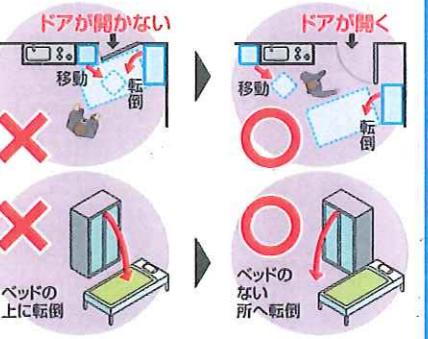
器具の種類と効果

転倒防止器具は、震度6強の揺れを再現した実験で、その効果を測定しました。

使用条件	器具の効果				
	小		大		大
単体使用	ストッパー式 マット式	ボール式	L字金具（スライド式） ベルト式 チェーン式	L字金具（上向け取付け） プレート式	L字金具（下向け取付け）
組合せ使用				家具、壁面や器具に十分な強度が必要	ポール式 + マット式 ポール式 + ストッパー式

安全な家具の配置

避難の妨げになることがあるので、通路や出入り口周辺に転倒・落下・移動しやすい家具類を置かないようにしましょう。家具類を置く方向にも注意しましょう。



詳しくは、東京消防庁ホームページ
家具転倒対策ハンドブックをご覧ください。